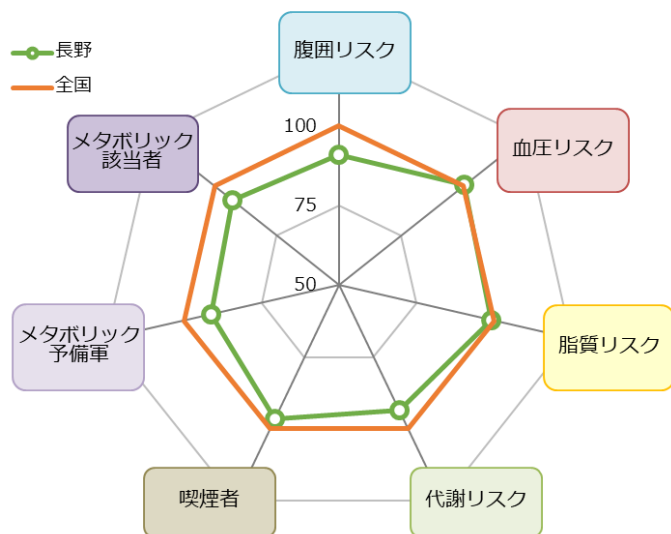


令和6年度 血圧リスクの分析（長野支部）

令和 7年 7月 11日

長野支部 リスク保有率の傾向

長野支部被保険者 各リスク保有率に関するレーダーチャート
(令和5年度医療費分析より)



	長野	全国	比率
腹囲リスク保有率	34.2%	37.5%	91.0
血圧リスク保有率	49.9%	49.6%	100.6
脂質リスク保有率	30.1%	30.3%	99.3
代謝リスク保有率	16.3%	17.4%	93.6
喫煙者割合	28.6%	29.6%	96.5
メタボリック予備軍 該当者割合	12.2%	13.4%	91.3
メタボリックリスク 該当者割合	16.4%	17.7%	92.8

- ✓ **長野支部は血圧リスクが高い傾向にある。**
- ✓ **約2人に1人※が血圧リスクを保有している。**
(※40歳以上の長野支部被保険者のみで集計した結果)

* 各指標のリスク保有の判断基準

腹囲リスク	内臓脂肪面積が100cm ² 以上 内臓脂肪面積の検査値がない場合は、男性：腹囲 $\geq$ 85cm 女性：腹囲 $\geq$ 90cm
血圧リスク	収縮期血圧 $\geq$ 130mmHg または拡張期血圧 $\geq$ 85mmHg または高血圧に対する薬剤治療あり
脂質リスク	中性脂肪 $\geq$ 150mg/dl またはHDLコレステロール<40mg/dl または脂質異常症に対する薬剤治療あり
代謝リスク	空腹時血糖 $\geq$ 110mg/dl または糖尿病に対する薬剤治療あり 空腹時血糖の検査値がない場合は、HbA1c $\geq$ 6.0% または糖尿病に対する薬剤治療あり
喫煙者	問診票で喫煙していると回答

メタボリック予備軍	腹囲のリスク保有に該当し、かつ血圧、脂質、代謝のうち1項目においてリスク保有に該当する。
メタボリック該当者	腹囲のリスク保有に該当し、かつ血圧、脂質、代謝のうち2項目以上においてリスク保有に該当する。

長野支部 血圧リスクⅠ度以上の保有率

- ✓ 長野支部加入者（被扶養者含む）の血圧リスクⅠ度以上の保有率は年度ごとに上昇している。
- ✓ 平成28年度から令和6年度までの8年間で血圧リスクⅠ度以上の保有率は **3.2%増加** している。

長野支部加入者 血圧リスクⅠ度以上の集計表

	受診者数	血圧リスクⅠ度以上	
	(人)	(人)	該当率※
令和6年度（2024）	229,692	52,163	22.8%
令和5年度（2023）	231,876	52,806	22.8%
令和4年度（2022）	230,104	52,163	22.7%
令和3年度（2021）	232,023	51,768	22.3%
令和2年度（2020）	220,711	49,792	22.6%
令和元年度（2019）	216,080	44,324	20.5%
平成30年度（2018）	205,119	41,148	20.1%
平成29年度（2017）	191,080	38,180	20.0%
平成28年度（2016）	179,350	35,217	19.6%

8年間で
3.2%増

※血圧リスクⅠ度以上該当者数÷血圧判定可能者数（収縮期血圧もしくは拡張期血圧のデータがない者を除いた数）

※ 血圧リスクⅠ度以上の判断基準 … 収縮期血圧 ≥ 140 または 拡張期血圧 ≥ 90

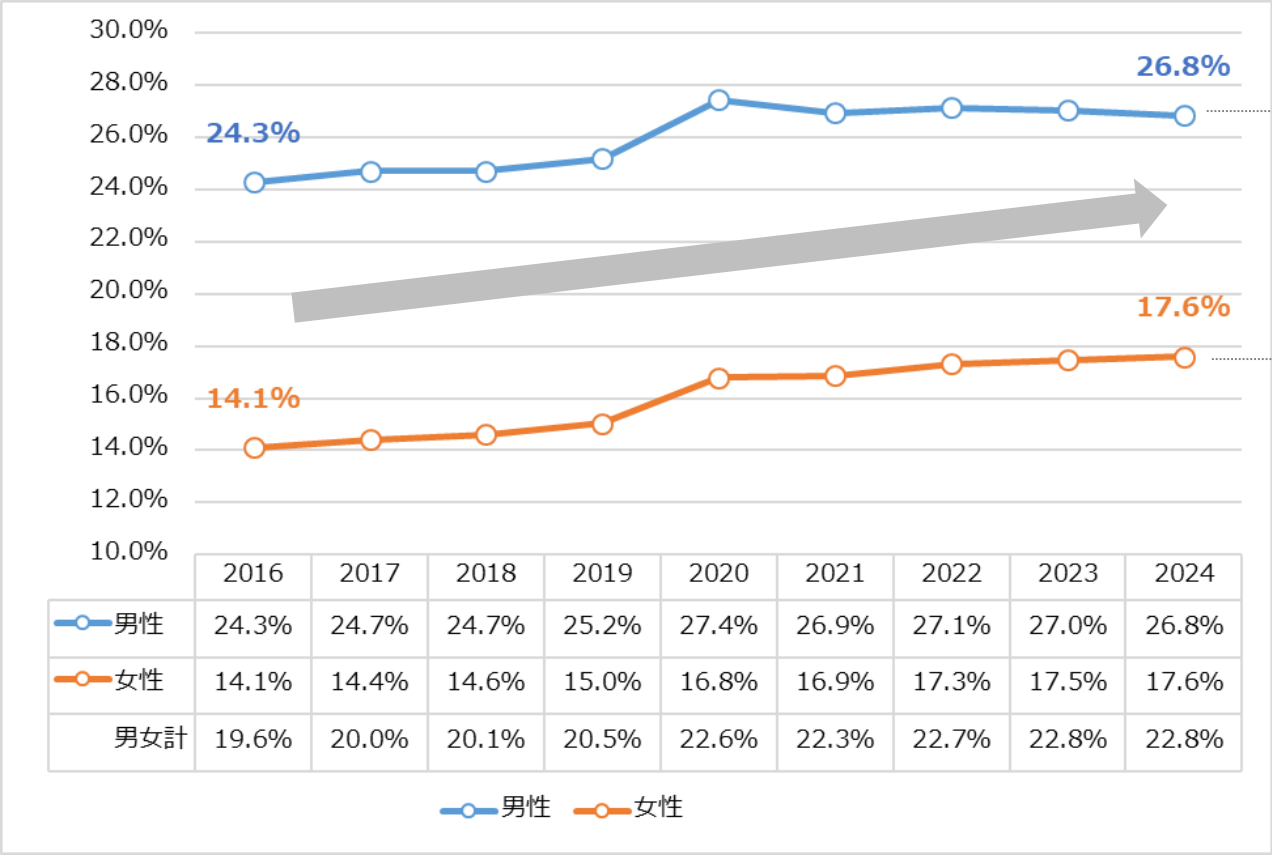
長野支部 血圧リスクⅠ度以上の保有率（年度推移：男女別）

長野支部加入者 血圧リスクⅠ度以上の保有率に関するグラフ
（2024年 年度推移：男女別）

8年間の差

男性
+2.5%

女性
+3.5%

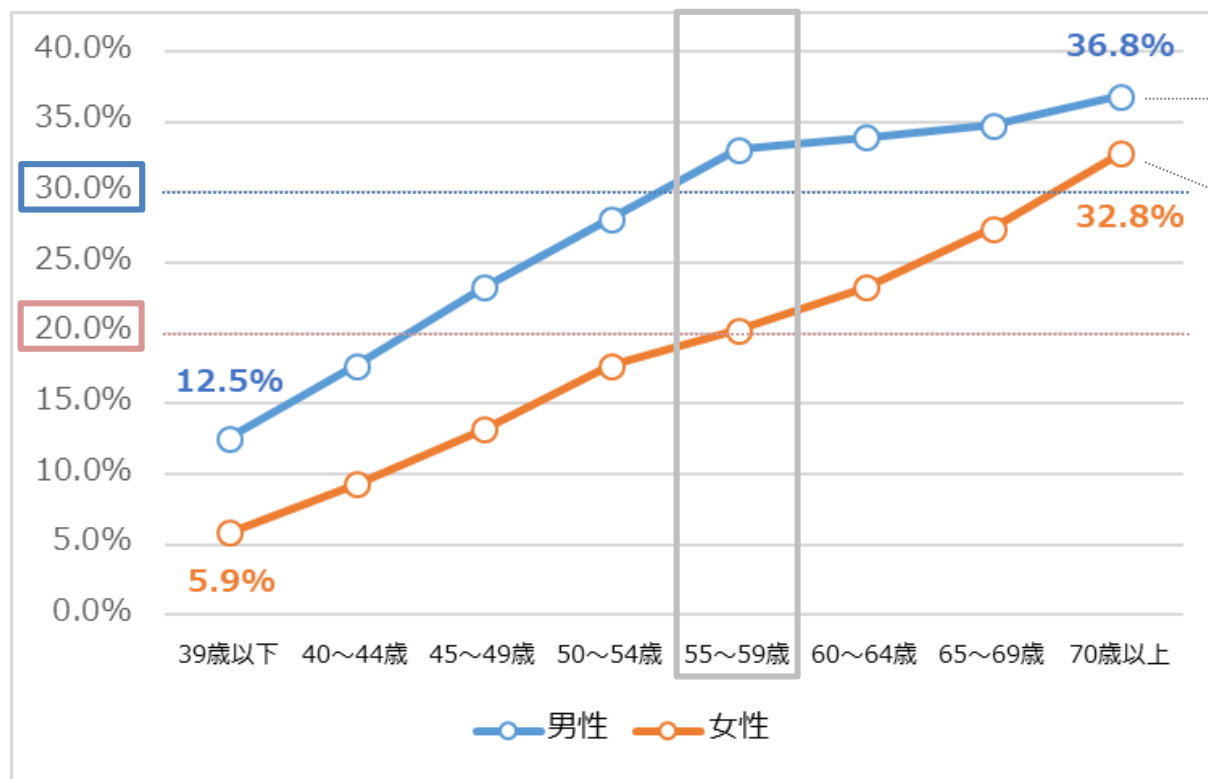


長野支部 血圧リスクⅠ度以上の保有率（年齢階級ごとの推移）

- ✓ 加齢とともに血圧リスクⅠ度以上の保有率は上昇し、55歳以上に到達した時点で男性は30%、女性は20%を超える。

長野支部加入者 血圧リスクⅠ度以上の保有率に関するグラフ
（2024年 年齢階級ごとの推移）

39歳以下～70歳以上の差

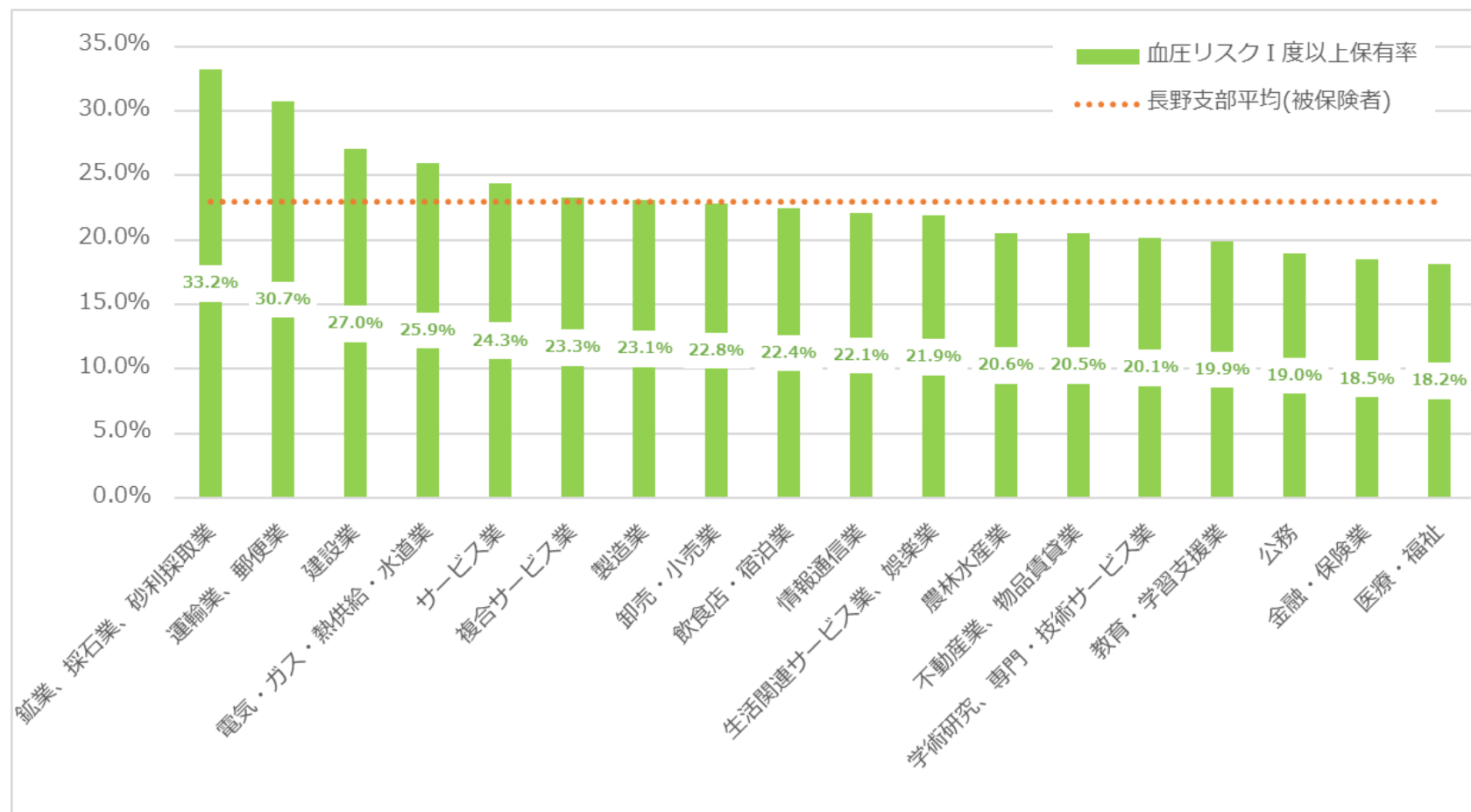


男性
+24.3%

女性
+26.9%

長野支部 血圧リスクⅠ度以上の保有率（業態別の比較）

長野支部被保険者 血圧リスクⅠ度以上の保有率に関するグラフ
（2024年 業態別の比較）



※令和7年6月18日時点で全喪の事業所を除き、被保険者のみで集計

長野支部 血圧リスクⅠ度以上の保有率（地域別の比較）

長野支部加入者 血圧リスクⅠ度以上の保有率と特定健診受診率に関するグラフ
（2024年 地域別の比較）

